ファミリー・サポート通信

発行：文京区ファミリー・サポート・センター

令和8年10月
74号

令和8年度　第2回ファミリー・サポート・センター講演会

「つながる」って意外と楽しい。

～地域活動のはじめの一歩～

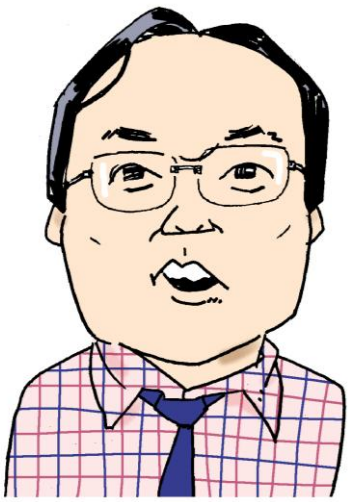
①地域で「何かしてみたい」と思っている人
②何かに「登録だけ」はしたけれどまだ活動していない人
③「定年退職後」の人生プランに困っている人
④そもそも「地域とつながる」にピンとこない人

そんな人たちにこそ聞いて欲しい!
この講演会への参加を、住んでいる地域での活動をはじめる、「はじめの一歩」にしませんか。

講　師

しみず　たかゆき
清水　孝幸　氏





東京新聞編集委員。1962年生まれ。1985年に中日新聞社・東京新聞に入社。論説委員（政治担当）、政治部長、編集局次長、東京新聞事業局長などを経て、現職。政治記者の傍ら、定年を控えて会社に代わる「居場所」を探すため、地元東京都中央区で100を超える地域活動を体験。

日時　令和8年12月10日（木）
午後2時～4時

場所　文京区民センター2A会議室
※駐車場はありません。
自転車でお越しの際は、有料の駐輪場をお使いいただきます。
できるだけ、公共交通機関をご利用ください

申込　入力フォーム
下記の二次元コードに必要事項を入力してください。

難しい場合は、お電話（03-3812-3043）にてお申込みください。

定員　100名（申込多数の場合抽選）

締切　12月3日（木）

ファミリー・サポート・センター講演会は、ファミリー・サポート・センターを、広く周知するために地域の皆様に向けて、年に2回行っている講演会です。

こどもをまもろう　みんなでまもろう

令和8年12月25日から「こども性暴力防止法」がスタートします

こどもへの性暴力は、こどもの心や身体に深刻な影響を与えるものであり、決して許されるものではありません。
ファミサポでも、依頼会員・提供会員の双方が「こどもを守る」という意識を持つことを大切にします。

こどもを守るために、私たち大人にできることがあります。
一人ひとりがこどもの気持ちを大切にし、地域のみんなでこどもを見守っていきましょう。

私たち大人にできること

こどもの気持ちや意思を大切に

こどもにも、自分の身体や気持ちについて「いや」「やめて」と伝える権利があります。
大人の考えを一方的に押しつけず、気持ちや言葉に耳を傾けましょう。

日頃から、こどもの様子に目を配る

表情や言動など、普段と違う様子がないか気にかけることも、こどもを守ることにつながります。
小さなサインを見逃さないことが大切です。

安心して話せる関係づくりを

日頃からこどもの話を聞き、気持ちを受け止めることで、困ったときに「助けて」「こんなことがあった」と話しやすい関係につながります。

ファミサポの活動で大切にしたいこと

依頼会員と提供会員で、活動内容やこどもの様子を日頃から共有し、お互いに安心できる関係をつくっていきましょう。
活動中のこどもの様子などで、気になることや心配なことがあった場合は、一人で抱え込まず、ファミリー・サポート・センターへご相談ください。

もっと詳しく
こども家庭庁

次回のファミリー・サポート通信は、さくら連絡網での配信のみです

年末年始について

12月29日(火)から令和9年1月3日(日)まで、センターは年末年始休業期間です。
1月のサポート連絡は、12月23日(水)までに必ずご連絡をください。
ご協力よろしくお願いいたします。

来年度の新入園・入学、進級等に伴う依頼について



来年度の新規依頼受付開始日は、さくら連絡網でお知らせしますので、ご案内までお待ちください。

退会をご希望の場合は、センターまでご連絡ください。

こちらの二次元コードからもご連絡可能です。

文京区社会福祉協議会 ホームページ→
https://www.bunsyakyo.or.jp/contactus

文京区社会福祉協議会キャラクター きく文(もん)



問合せ先

文京区ファミリー・サポート・センター ☎03-3812-3043
〒113-0033
文京区本郷4-15-14 区民センター4階
文京区社会福祉協議会 ささえあいサポート係

ファミリー・サポート・センター ホームページ→